

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和 4 年 4 月 15 日

事業所名 もやいのえんがわ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		活動するのに十分なスペースを確保している	死角は多いため、導線の配慮は必要
	2	職員の配置数は適切である	○		十分な配置ができるように考慮している	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている		○	安全に配慮をし空間を作っている。	今後もより分かりやすい生活空間にしていける必要がある。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		清潔にし、活動に合わせ使う部屋を分けている。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		全職員が振り返れるようにしている。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		いただいた評価を参考に業務改善に繋げている。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		この評価結果をホームページで公表している。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○		第三者の評価を参考に業務改善に繋げている。	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		研修プログラムを組んで毎月リスクマネジメントも実施している。	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		ニーズや課題を分析し、支援計画を作成している。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している		○		発行されているアセスメントツールを参考に、事業所に合うツールの作成・使用を検討する。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		児童や家族の状況を考慮し支援計画を立て、支援内容を決定している。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		支援計画に基づき、支援を実施している。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		職員間でプログラム案を出し合い、活動プログラムを決定している。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		複数のプログラム案を出し、様々なことを経験できるようにプログラムを計画している。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		児童の状況に合わせて支援計画を作成している。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		各活動での担当を決めて支援している。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		振り返りを実施し、情報を共有する。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		経過記録を作成している。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		定期的なモニタリングを実施している。	
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児発管が必ず参画している。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている		○		子育て相談支援への参加の有無を保護者へ確認するなど、今後検討していきたい。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		○		受け入れ態勢は整っておらず検討中。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		○		受け入れ態勢は整っておらず検討中。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		○		必要に応じて情報共有を行っている。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		○		必要に応じて情報共有を行っている。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○		積極的に助言等を受けるようにしていく。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○		今後、交流を増やしていきたい。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加している		○		日程的に参加可能な協議会は参加できるように調整する。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		連絡帳や直接お話しをして情報共有を行っている。	
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている		○		今後検討が必要。	
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時や変更などがある場合は丁寧に説明するように心がけている。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		児童や保護者のニーズを確認し、支援のガイドラインに基づき、計画書を作成し、保護者に説明し同意を得ている。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		連絡ノートを導入している。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		保護者の希望があれば保護者同士を繋ぐなどの対応を検討する。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		必要に応じて管理者、責任者が対応するように組織で動いている。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		会報誌等はないが、ブログを更新し保護者が閲覧できるようにしている。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		書類や発言ともに個人情報に留意し対応している	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		連絡ノートを導入している。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		マルシェなどを開催し、地域住民を招待。児童も合流し活動している。	
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		定期的にマニュアルを確認、見直しを実施。	保護者へマニュアルがあることや訓練をしていることを周知していく。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		定期的に訓練等を実施	保護者へ実施した時は連絡ノート等で発信する。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		契約前に保護者様へ確認し、定期的に身体状況を確認するようにしている。	予防接種の確認は十分に出来ていなかったもので、十分に確認し、最新の状況を共有していただく。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		管理栄養士と相談して食事には気をつけている。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		毎月のリスクマネジメントカンファレンスを実施している。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		研修プログラムに組み込み済み	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		必要な場合は子どもと保護者様へ十分に説明し、支援計画に記載した上で実施するようにする。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。